

巡回バスがリニューアルしました。



5 月 号

令和 2 年 5 月 1 日発行
【発行者】〒168-8510
東京都杉並区高井戸西 1-12-1
社会福祉法人 浴風会
発行責任者 京極 高宣
TEL (代表) 03-3334-2101
http://www.yokufukai.or.jp/
【印刷所】株式会社サイド・ビー

社会福祉法人浴風会との関わり

独立行政法人福祉医療機構

理事 風間 弘次



独立行政法人福祉医療機構理事の風間です。どうぞよろしく
お願いいたします。

本年 2 月に高齢者医療・介護・

福祉分野のフロントランナーである浴風会に初めてお邪魔する機会をいただきました。入口にある東京都選定歴史的建造物である重厚な本館に圧倒され、都内とは思えない広大な敷地に数々の施設が一体的に運営されている姿に驚きを覚えたのが第一印象です。

また、各施設を拝見した際、従事されている方々からの挨拶などを通じて、浴風会が人材を育成・成長させる組織であると感じ、あらためて「ひと」が組織の財産であると痛感した次第です。

独立行政法人福祉医療機構は一体どのような団体かと思われる方が大勢いらっしゃるかと思います。浴風会に関わられている方であれば「WAMNET」

といえばピンと来る方も多いか
と思います。この WAMNET
を運営している団体でもありま
す。

当機構は、国の政策と密接な連携のもと、地域の福祉医療基盤の整備や維持継続をはかるため、長期・固定・低利の政策融資をはじめ、これらの施設の経営に関する各種レポートの公表、コンサルティングやセミナーの開催などを通して施設の安定経営を支援しています。

とくに、現在、新型コロナウイルスの影響により事業の継続に支障がある事業者様に対し優遇措置を拡充した経営資金を積極的にご融資しています。

また、これらの事業にくわえて、前述の国の制度・施策などの情報を提供する WAMNET 事業、福祉施設で働く方々の退職金を賄う退職手当共済事業、制度の狭間にある福祉課題に対応する民間福祉活動を助成金で

応援する社会福祉振興助成事業など各種事業を一体的に実施することにより、地域における福祉と医療の基盤作りの一助となるよう、皆様の活動を側面から支援しています。

このような機構の様々なメニューを引き続きご利用いただくことにより、施設の安定経営や地域の活性化に貢献できるものと考えます。

社会福祉法人浴風会は令和 7 年に創立 100 周年を迎えられることとなります。福祉・医療を取り巻く環境は年々厳しさも増してきていますが、そのような中で、貴会におかれましては地域の課題やニーズを的確に把握し克服する高齢者医療・介護・福祉分野のフロントランナーであり続けることが求められているのではないのでしょうか。

末筆ながら、貴会のますますのご発展と皆様のご健勝を心よりお祈りいたします。

令和2年度 浴風会事業計画（概要）について

本部事務局長 浅井 敏男

Ⅰ 基本方針

令和7年1月に創立100周年を迎えるこの期に、今年度から令和6年度までを期間として策定された中期事業計画を念頭に置き、当該計画の初年度に相応しい事業展開を図る。

1 経営組織のガバナンス強化、事業運営の透明性の向上、財務規律の強化、地域における公益的な取組の実施といった社会福祉法人制度改革への対応を着実に推進する。

また、地域包括ケアシステムの推進、自立支援・重度化防止に資する質の高い医療・介護・福祉サービスの実現などに鋭意取り組む。一方で、法人の持続的な成長を可能とするため、質の高い人材の確保、働き方改革の推進、安定的な経営基盤の構築といった取組にも努める。

2 一体化した広報計画の下、実施事業の現状や方向性等について、適時適切に情報発信し、もって会内外関係者の理解と信頼の確保に努める。

3 これらの取組に当たっては、経営企画会議の下、本部事務局、企画開発本部、事業本部、人材確保対策推進本部、地域公益活動推進本部といった本部組織、また病院や特別養護老人ホーム等の各事業部門が密接に連携し、組織を挙げて対処する。

また、全職員が、当会職員であることに誇りを持ち、多職種協働で各々職務に邁進できる職場づくりを推進する。

4 更に、2040年問題を展望しつつ健康寿命の延伸、医療・福祉の生産性の向上を目指し、地域共生社会の実現に向け長期的な対応を図る。

Ⅱ 重点事項

1 地域との協働と社会貢献

(1) 施設設備の開放、職員の派遣等を通じて地域交流の推進

(2) 研修、職場体験活動等の積極的受入れ及び各種講座の開催

(3) カフェ事業等による高齢者の居場所づくりの実施

2 利用者中心のサービスの提供

(1) 回復期リハビリテーション医療及び在宅支援機能（老健、訪問診療・看護等）の充実

(2) 自立支援・重度化防止に資するサービスの推進

(3) 認知症になっても安寧に過ごせる地域づくりの実施

(4) 元気高齢者の活躍の場や互助を推進する仕組みづくりの実施

(5) サービスマナーの向上及びリスクマネジメントの徹底

3 専門職の連携を活かした職場づくり

(1) 法人の特長を活かした採用活動の実施

(2) 働き方改革への的確な対応

(3) 実習生の受入れ促進

(4) 研修制度及び福利厚生制度の充実

(5) 労働安全衛生の推進

(6) 障害者雇用・外国人雇用の推進

4 着実な事業実施のための経営基盤づくり

(1) 堅実な財務運営基盤の形成

(2) 計画利用率の確保・達成

(3) 予算執行管理の徹底とコスト意識の向上等

(4) 高齢者保健医療総合センターの経営基盤の安定

(5) 法人機能の充実

(6) 各法人組織の活性化による業績の向上

・経営企画会議等による法人が抱える諸課題の検討及び対処方針の決定

・広報活動の推進及び防災対策の推進

(4) 先端テクノロジー活用による各事業部門の成長・革新への取組

Ⅲ 各事業計画概要

1 高齢者保健医療総合センター事業

●浴風会病院事業

前回（平成30年度）の診療報酬改定以降、患者数が目標を下回る状況が続いているため、特にこの2年間については大胆な経営戦略を立てて、次の内容を確実に実施するよう全スタッフにて取組む。

(1) 地域包括ケアシステムを現実のものとするため、地域医療・介護連携推進の観点に立ち患者本位を前提とした院内の慣習にとらわれず、また、事項の大小にかかわらず経営改革に取組み、経営の健全化を図る。

(2) 回復期リハビリ棟、地域包括ケア病棟、医療療養病棟、老健施設のそれぞれの機能が有機的、効果的に連携し、地域のために総合センターとしての役割が十分果たされ、結果として収益増となることを再認識し取組む。

(3) 回復期リハビリ棟では、運動ADL（FIM）の改善によって得られるリハビリテーション実績指数が上がる患者層の確保と休日リハ加算の上位取得を目標とする。

(4) 地域包括ケア病棟の目的に沿った運用の推進及び医療療養病棟における、在宅復帰機能加算を増やすため、退院先を考慮した入退院調整の機能を更に強化させる。

(5) 外来診療の充実の一環として、糖尿病教育入院、頭部画像診断外来の新設に取組む。

(6) 訪問医療、訪問看護、訪問リハの需要が多いことに鑑み、訪問系事業の事業化への基盤づくりを行う。

●老健くぬぎ事業

開設以来5年を経過し、入所利用率は直近実績で94%となり、運営費も12か月連続で強化型を取得し、着実に実績を上げてきているが、通所については目標利用率には届かない状況が続いているため、次の事項について全スタッフ一丸となって取組んでいく。

(1) 短期集中リハビリテーション加算の取得を計上するとともに、強化型の上位である「超

強化型」の取得に向けて準備をする。

(2) 超過勤務の上限設定、医薬品支出の低減、人材紹介会社への手数料の低減などを実行する。

(3) 通所事業については前年度に経営の向上についてさまざまな取組んできたが、今年度も引き続き経営方針について検討する。

2 老人福祉事業

(養護老人ホーム、軽費老人ホーム)

複雑多様な生活課題を抱える高齢者に対して、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、居住支援、生活支援等を行うとともに、施設が有する機能を活用した地域貢献策を展開する。

(1) 研修や職場体験活動等の積極的受入れ、又、利用者の知識・特技を活かした利用者による講演会や料理教室等を地域へ向けて積極的に活動を拡充するなど、社会貢献や地域との協働を進める。

(2) 誰もが安心して明るく生き甲斐のある日常生活を営むことができるよう、個別支援計画に基づく支援、生活環境の向上等全職員が一丸となって多職種協働で多様化したサービスの充実に向けた取組を進める。

(3) 加齢に伴う身体機能の低下、認知症等精神疾患利用者の増加を踏まえ、要介護ニーズについては、介護保険サービス等の活用も併せ、可能な限り住み慣れた施設での生活を継続できるよう、取組を進める。

(4) 各施設が行う行事・クラブ活動等の内、他施設の利用者も参加可能なものについて情報を共有することにより利用者の選択を拡大し、相互の交流が可能となるよう、情報の共有化を進める。

(5) 研修等への積極的参加による専門性の向上に努めるほか、良好な人間関係を構築・維持する能力や説明・調整能力等を養うなど、各職種間の密接な連携が確保された働き甲斐のある職場づくりを進める。

(6) 施設運営に必要な人材の確保、サービス標準化による効率的、効果的業務の遂行、行政

や医療機関等の関係先との良好な協調関係を構築、待機者の実態把握、施設設備の計画的修繕・更新など、施設の安定的、持続的な経営基盤の確保を進める。

(7) 施設経営の持続可能な財源確保を図るため、消費増税に見合った措置費・補助金、施設管理等に係る利用者負担の見直しの取組を進める。

3 介護保険事業（特別養護老人ホーム、在宅サービスセンター及びグループホーム）

- (1) 緊急ショートステイの積極的受入れ。（特養）
- (2) 生活困窮者自立支援制度に基づき、就労の機会を提供する。（特養）
- (3) 大学生のインターンシップを積極的に受け入れ。（特養）
- (4) 外国人技能実習生の受入れと外国人介護職員採用を進める。（特養）
- (5) 地域の小中学校の対象を拡げ福祉教育への協力。（特養）
- (6) 緊急やむを得ない身体拘束の廃止及び、リスクマネジメントの強化に取組む。（特養）
- (7) 浴風会病院との協働の下に看取り介護体制をさらに推進する。（特養）
- (8) 適切な医療ケアを提供するために、多職種による医療連携ケアの向上を図る。（特養）
- (9) 待機者のスムーズな入所に心がけ、欠員空床の通減に努める。（特養）
- (10) ICT 通信環境を利用した見守り支援機器等の導入を進める。（特養）
- (11) 会内キャリアパス研修の他、3 特養合同中途採用介護職員対象のキャリアアップ研修等を実施する。（特養）
- (12) GH ひまわりにおける浴風会病院と連携した健康管理の充実を図る。
- (13) 入浴等利用者ニーズに沿ったサービスを提供する。（各在宅サービスセンター）
- (14) 「中野・杉並医療と介護の感染予防ネットワーク」と協働し、感染症予防対策を強化する。（全事業）
- (15) 目標利用率の達成。（全事業）
- (16) 有給休暇の計画的取得に努める。（全事業）

4 地域サービス事業

- (1) 高井戸地区地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域住民が中心となり、地域の課題を考え、居場所づくりや健康づくりなどを通じて、「お互いさま」の気持ちで支え合える地域共生社会づくりを進める。
- (2) ケア 24 高井戸は、地域ケア会議の開催、医療・介護の連携、認知症支援体制の充実、生活支援体制の整備、介護予防の取組等により、地域包括ケアシステムの深化・推進を図る。
- (3) 居宅介護支援事業所は、地域ケア会議等を通じて多職種連携を踏まえたケアマネ業務の充実を図り、利用者それぞれに合った適切なケアプランを作成する。
- (4) ヘルパーステーションは、人的体制を確保して利用者ニーズに対応した介護保険サービスを提供するとともに、総合事業や、介護保険外のサービスについても積極的に実施する。
- (5) シルバーピア（区内 11 か所）の相談事業は、高齢者の見守りや相談を通じて、安全安心な在宅生活を支援する。
- (6) よくふう保育園は、受託事業者・上水保育園と連携し、職員の子育て支援の充実を図るとともに、地域の保育需要にも柔軟に対応する。

5 認知症介護研究・研修東京センター事業

- (1) 令和元年 6 月に政府はこれまでの新オレンジプランから、「共生」と「予防」を車の両輪とした「認知症施策推進大綱」を新たな認知症国家戦略として発表した。この大綱を基盤とした認知症諸施策の推進を図るために、当センターは調査・研究・研修等を行い、認知症国家戦略の推進に寄与する。
- (2) 研究事業の実施に当たっては、その時々の国策に応じた課題については「厚生労働省老人保健健康増進等事業」、基礎的な課題やセンターの独自性に基づく課題については、「センター運営事業費」、「日本医療研究開発機構（AMED）研究費」、「厚生労働科学研究費」、「文部科学研究費」、「生活協同組合・民間財団研究助成金」等を活用し研究を行う。さらに、より研究成果を確かなものとするために、

複数年の研究計画（中・長期的な研究計画）を策定し、研究事業の管理を行っていく。

(3) 認知症ケアレジストリ研究を今年度も継続実施し、データの登録を伸ばすとともに、そのデータから、BPSD 低減に有効なケアについて考察していく。また、会内 3 特養との連携によるデータ登録を今年度も推進し、登録数の拡大を図る。

(4) 認知症ケアの IoT や AI の進歩を見据えつつ、介護の現場においてこれらの技術を利用することによるケアの質的向上や介護職の負担軽減を図ることを目標とした研究を推進する。研究にあたっては、IoT や AI の専門研究者、すでに介護現場にこれらの技術の導入を試みている介護事業関係者、会内の施設の関係者等、広く法人内外の人々と協働して研究を推進する。

(5) 認知症施策推進大綱において KPI の一つとして認知症介護指導者養成者数と示されたことで、新オレンジプランの目標を引き継ぐ形となった。これを受け、認知症介護指導者養成研修及びフォローアップ研修を今年度も東京センターの基幹事業として実施する。

(6) 認知症施策推進大綱の KPI として「全認知症地域支援推進員が新任者・現任者研修を受講」が明示された。そこで、これまで実施してきた、認知症地域支援推進員研修をこれからも継続的に実施する。さらに、認知症地域支援推進員と認知症介護指導者等の専門職が協働して医療・介護等の地域ネットワークを構築し、より効果的な認知症ケア技術の向上を目指すことを支援する。

(7) 認知症をポジティブにとらえる啓発や、認知症になっても本人・家族が安寧に過ごせる地域づくりに貢献する。

(8) 地域貢献の一環として、杉並区との協働により、区民等を対象としたセミナーや区の認知症関連事業等に寄与する。

(9) センター事業の評価及び運営に資するため、外部委員からなる「運営協議会」を開催し、研究・研修等事業全般についての評価を受けそれを踏まえた上で適切な事業運営を行う。

令和2年度資金収支予算						単位:千円
区 分		収 入 予 算 額		支 出 予 算 額		予 備 費
社 会 福 祉 事 業	養護 浴風園	459,644		459,644		0
	軽費 松風園	344,243		344,243		0
	軽費 ケアハウス	156,251		156,134		117
	老人福祉事業計 (a)	960,138	11.2%	960,021	11.3%	117
	特養 南陽園	1,184,816		1,180,763		4,053
	特養 第二南陽園	719,716		718,834		882
	特養 第三南陽園	1,086,148		1,084,680		1,468
	南陽園在宅サービスセンター	41,530		41,308		222
	第二南陽園在宅サービスセンター	89,241		89,241		0
	グループホームひまわり	109,467		109,401		66
	ヘルパーステーション	61,324		60,820		504
	介護保険事業計 (b)	3,292,242	38.6%	3,285,047	38.7%	7,195
	浴風会病院	3,024,534	35.4%	2,998,783	35.3%	25,751
	老健 くぬぎ	649,886		645,854		4,032
	認知症介護研究研修センター	280,376		275,565		4,811
公 益 事 業	本部事務局	178,307		177,879		428
	本部等事業小計 (c)	4,133,103	48.4%	4,098,081	48.3%	5,239
	社会福祉事業合計 (d=a+b+c)	8,385,483	98.2%	8,343,149	98.2%	42,334
	地域包括支援センター	48,325		48,325		0
	居宅介護支援事業所	27,667		27,599		68
業	よくふう保育園	40,368		39,891		477
	ケアスクール	17,564		17,442		122
	公益事業合計 (e)	133,924	1.6%	133,257	1.6%	667
	収益事業 (f)	17,100	0.2%	16,308	0.2%	792
総 計 (d+e+f)		8,536,507	100.0%	8,492,714	100.0%	43,793

浴風会の動き (4 月)



本館前のハナミズキが見頃です。

【本部事務局】

1日 「採用辞令交付式」開催（新採用30名）。
 2日 「新人職員研修会」開催。
 8日 「花まつり」新型コロナウィルス感染症予防の為に開催中止。（浅井）

経営職人事（令和2年3月31日付）

定年退職

本部事務局 事務局長 浅川正仁

再雇用 本部事務局参事

（4月1日付）

退職

浴風会病院 看護部長 川代たつ子

認知症介護研究・研修東京センター

副センター長 佐藤信人

（令和2年4月1日付）

昇任

本部事務局 事務局長 浅井敏男

（本部事務局次長）

認知症介護研究・研修東京センター

副センター長 永田久美子

（研究部長）

採用

浴風会病院 看護部長 佐野廣子

浴風会ケアスクール

Cafeオレンジリボンウッド

1日 介護福祉士実務者研修開講。受講生6名。

定期的に開催しております、「よくふう語ろう会」（第2水曜日）と「Cafeオレンジリボンウッド」（第2月曜日、第4金曜日）は、今般の新型コロナウィルスによる感染拡大予防のため、当面開催を中止とさせていただきます。（鈴木）

【老人福祉事業】

浴風園

（養護老人ホーム）

1日 今年は新型コロナウィルスの影響で、花見会を開催することはできませんでした。その代わりお花見弁当と甘酒を皆様にお配りし、少しでも春の香りを味わっていただくことにしました。窓の外では、例年と変わらず暖かい風が舞い、桜も美しく咲き続けておりましたので、緊急事態でなければ、皆様とお弁当を食べながらお花見を楽しめたところでした。来年は、今年の分も利用者の皆様とご一緒にお花見を楽しみたいと思います。（感染防止のため、席の間を空けて召し上がって頂きました。）（阿南）



松風園

（軽費老人ホーム）

2日 「お花見会」。新型コロナウィルス感染症の拡大が懸念される中、今年のお花見会は簡素に行いました。例年と同様、食堂にて手作りのお花見

弁当や甘酒、またよもぎの香りが春を感じさせてくれる草だんごも例年通り楽しんでいただきました。毎年、食後には皆様がおしゃべりを楽しまれるご様子が見られるのですが、今年は早めに散会していただきました。



浴風会ケアハウス

4月も、感染症予防対応で、通常の企画は中止・延期しています。密にならないような気をつけ、新しい企画を行いました。

3日 「お花見会」。例年はお弁当を持ち帰ってお花見をしながら召し上がる事ができる会ですが、今年は食堂で開催しました。お弁当はとても華やかでした。

8・14日 「散歩会」。多摩川上水付近や神田川付近を散歩しました。

23・24日 「ほっと一息カフェ」。ケーキ屋さんのスイーツを用意しコーヒードリップし、1テーブルに1人とし、ゆっくり過ごしていただきました。（尾滝）

【介護保険事業】

南陽園

（特別養護老人ホーム）

1日 新年度になり、新たに新人ケアワーカー1名と登用ケアワーカー3名が南陽園のスタッフとして加わりました。新

人研修後、それぞれの配属先での勤務が始まりました。

17日 「誕生会」を開催。4月生まれの方のお祝いと昼食はお祝い膳、おやつは3種類のケーキの中からお好みのものを1つ選び召し上がりました。（丸山）

南陽園在宅サービスセンター

（認知症対応型通所介護）

新型コロナウィルス感染拡大のため、現在、「緊急事態宣言」が発令中ですが、デイサービスは平常どおりご利用いただいています。

全国的なマスク不足のなか、デイサービスでも南陽園の機能訓練室と協力して「手作りマスク」を制作しています。利用者の皆様は、「これは何になるの?」などとお話しながらハサミをとでも器用に布地をマスク型に切ってくださいました。後日完成したマスクが届き、それぞれ好きな柄を選んでご家庭へお持ち帰りいただきました。（鶴間）

★各事業のお問い合わせは随時行っておりますので、お気軽にご連絡下さい。（鶴間・工藤）

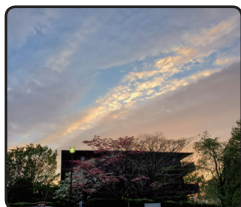
◎電話 03-3334-2743

第二南陽園

（特別養護老人ホーム）

1日 2名の登用採用職員が着任しました。

15日 「クッキング★カフェ」を開催し、イチゴのティラミスと桜えびせんべいを作りました。



新型コロナウィルス感染防止のため、外出支援やボランティア

イアによる活動は中止させていただいていますが、1 階園庭の散歩やレクリエーションなどを実施し、ご利用者に楽しんでいただけるよう工夫をしています。

(山崎)

第二南陽園在宅サービスセンター

(通所介護、介護予防通所介護)

現在、第二南陽園在宅サービスセンターではボランティアさんをお招きしてのイベントを中止しておりますが、ご利用者の皆様は元気にレクリエーションや手工芸の活動にご参加くださっております。

(隈本)

★見学申し込みやデイサービスへの質問やお問い合わせは随時受け付けています。

◎ 03—3334—2140

第三南陽園 (特別養護老人ホーム)

1 日 「開園記念日」。早いもので第三南陽園は 19 回目の開園記念日を迎えることができました。これもひとえにご利用者の方々、そしてご家族や地域の方々に支えられてきたおかげです。開園記念日には健康に良く、災いをさけると言われるお赤飯を盛り込んだ祝い膳と紅白饅頭でお祝いをさせていただきました。「今日は特別な日なのね!」とご利用者の方々も喜ばれていました。

第三南陽園では月に 2 回昼食時に「選択食」を実施しています。3 種類の主菜の中からご利用者にお好きなものを選んでいただきます。「うーん、どれにしたらいかわからないわ」と悩まれる方もいますが、多くのご利用者が楽しそうに選ばれています。今後

も楽しく食事をしていただけるように趣向を凝らしたメニューを考えていきます。

(佐々木)

グループホームひまわり

1 日 「開園記念日」。和気あいあいとおいなりさんを作って、美味しくいただきました。「おいなりさん大好きなの!」と話され 4 つ召し上がった方もおられました。

3 日 お花見弁当を注文して、色とり



どりのおかず「きねいね。どれから食べようかしら?」と話も弾み、とても喜ばれていました。

1 30 日 日常の一こま。食事を作

たり、ぬか床をかきまわしたり、お掃除をしたり、天気の良い日は洗濯物を干して、6 階のテラスを散歩しています。テラスにも水仙や芝桜などが咲きとてもきれいでした。室内でのレクリエーションでは、皆様がお好きな歌を歌ったり、真剣勝負のカルタ取り、何パターンもある体操など...活気あふれる毎日をご過ごされています。

(谷口)



【地域サービス事業】

地域包括支援センターケア24高井戸

毎日、新型コロナウイルスのニュースが流れ、いつまでこの状態が続くのかという不安の中、様々な所から応援メッセージが飛び交っています。正に、日頃の繋がりや他人を思いやる人の暖かさを感じます。当センターも区からの指示で、開所時間の短縮や訪問を控え、電話やポスティング等で対応しています。地域の介護支援専門員のみなさんも利用者の方々を心配しながら、この状況を何とか乗り越えて行こうと情報交換を始めた。ケア24で開催する事業もすべて中止延期になっています。

この状況が収まったら、皆さんと今回の事を振り返りながら、今後の地域での暮らしを考えたいと思います。今を一緒に乗り越えましょう!!

(尾関)

杉並区地域包括支援センター

ケア24高井戸

◎ 電話 03—3334—2495

【病院事業】

浴風会病院

現在、浴風会病院では新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言を受け、入館時に検温及び手指消毒のご協力をお願いしております。また、引き続き新型コロナウイルス感染を防止するため、入退院などの手続きが必要な場合や、病状説明・容体の変化などの説明を医師や看護師から受ける場合、着替え・日用品などを患者様にお届けの場合などを除き、面会を原則禁止とさせていただきます。

ただいております。ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

(中澤)

◎ 予約電話 浴風会病院
03—3332—6511 (代表)

老健くぬぎ (介護老人保健施設)

27 日 2 階のご入所者で 4 月生まれの方を対象に誕生日会を行い、おやつの時間にケーキを提供しました。

デイケア、入所部門ともに新型コロナウイルス感染症予防対策として、3 密(密閉・密集・密接)を避けるため、ご利用者が集合しての行事等を中止しており、4 月は施設内でのイベントは控えることとなりました。その他、ボランティア等によるクラブも中止しております。なるべく早く感染状況が落ち着くよう事業所内の感染予防に努めて参ります。

新型コロナウイルス感染症予防対策として、ご面会の制限を行っております。ご家族様にはご不便をお掛けしておりますが、何卒ご理解ご協力をお願いいたします。

(森屋)

★入所・デイケア・ショートステイご利用のご相談はお気軽にご連絡ください。

◎ 03—5336—7701 (代表)

◎ 03—5336—7734 (入所)

◎ 03—5336—7704 (デイケア)

【研究・研修他】

認知症介護研究・研修東京センター

10 日 東京センター運営会議

コロナウイルスの影響で一部の職員はテレワークとなっています。外壁等工事も一時中止となっています。(富島)



浴風会病院～栄養管理室ってどんなところ？～

管理栄養士 加藤 三紀子

「栄養管理室」は

- ①入院患者様が安心して食べられる献立の作成・提供
- ②入院患者様の栄養状態を多職種で協力しながら改善方法を考えていくこと
- ③外来・入院患者様のお話をきいて栄養改善を一緒に考えていく栄養指導が 3 大仕事です。

◎お食事

入院中の楽しみの一つはお食事だと思います。栄養管理室では季節感を大切に、目で見て楽しく、食べておいしく、安心して召し上がっていただけるお食事づくりを心がけております。そして常食の方はもちろん、咀嚼や嚥下機能が低下している方にも楽しんで味わっていただけるよう工夫しています。



常食お花見弁当

まずは一口食べたいと思っていただけるようなメニューを考え、厨房スタッフと協力して心を込めて提供しています。

◎栄養改善

お食事を食べているところに訪問させていただくミールラウンドを実施し、直接患者様と会話をさせていただいたり、食事介助をしたり、病棟スタッフからおしえてもらったりしながら食事摂取状況を把握。カンファレンスで多職種と情報を共有し意見交換しながら栄養改善方法を考えています。

◎個別栄養指導

患者様の食事状況・生活習慣を伺い、実践・継続できる栄養・食事療法と一緒に考えさせていただいています。

「食べちゃダメ」という否定ではなく、肯定から始まる一人一人に合った食事療法を提案するよう心がけています。また患者様の「知りたい」栄養・食事情報にお応えできるように日々情報のアップデートにいそしんでいます。(例えば流行スイーツをたべたり、流行の調味料を使って調理したり、新食材を試したり、郷土料理を食べたり…)

「栄養指導に来ると安心できる」「ここに来ると体重だけではなく、心も軽くなる」と長く栄養指導に通ってくださっている患者様もいらっしゃいます。興味がある方はぜひ主治医に「栄養指導をうけてみたい」とお伝えください。月・金の午後、水曜日の午前中に外来栄養指導枠がございます。私たちが、目標達成までサポートさせていただきます。



桜の香りも楽しめる
ミキサー食



チラシ寿司仕立ての
ゼリー食

ご芳志

令和 2 年 3 月 16 日から 4 月 15 日

多くの方々よりご芳情をいただきました。
ありがとうございました。

〈金品・物品〉

宮沢 郁子様、萬代 英明様、秋田 浩子様、
狩野 治男様、村上 日出子様、
株式会社グレイプストーション様

●ほか、各施設にもいただいております。

【ご意見をお寄せください】

〒168-8510 ※住所なしで届きます

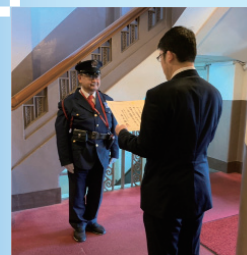
機関紙「浴風会」編集部係

soumu2@yokufukai.or.jp

<https://www.yokufukai.or.jp/>

お知らせ

厚生労働省の通知等に基づく、新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、浴風会病院及び各施設におきましては面会の制限等を行っております。詳しくは各施設等へお問い合わせください。



当会に配置されているネオハルト(株)の澁澤日出雄警備士が、ご利用者の特殊詐欺の被害を未然に防止したことにより、4月8日、高井戸警察署より感謝状を贈呈されました。